

Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0911
東京都 八王子市打越町 334-2-5-201
花輪 宗命 TWL : 090-2213-0257
Fax:042-636-6157
E-mail : hanamate@rk9.so-net.ne.jp

2022年 11月

The Service Club of The YMCA

第329号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	花輪 宗命	国際会長 Samuel Chacko (India)
副会長	茂木 稔	主題「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
書記	久保田 貞視	スローガン「自己を越えて、変化を起こそう」
会計	長谷川 あや子	アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen 主題:「新しい時代とともに エlegantに変化を」 スローガン「今すぐ実行を」
直前会長	山本 英次	東日本区理事 佐藤 重良 (甲府 21) 主題:「未来へ向けて今すぐ行動しよう」
担当主事	菅野 牧夫	スローガン「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」
プリテン	山本 英次 茂木 稔 大久保 重子	あずさ部部長 後藤 明久 (富士五湖) 主題「ワイズへの参加と交流を楽しもう」 八王子ワイズ会長 花輪 宗命 主題「感謝と報恩奉仕」

11月 例会プログラム

(Zoom 併用ハイブリッド例会)

日時: 11月12日(土曜日) 18:00~20:00

場所: 高尾の森わくわくビレッジ

(担当:C班 山本、大久保、茂木、並木(信))

受付: 大久保、並木(信) 司会: 山本

- ・開会点鐘 花輪会長
- ・ワイズソング 一同
- ・ワイズの信条 一同
- ・ゲスト・ビジター紹介 花輪会長
- ・聖書朗読・開会祈祷 並木(信)
- ・卓話「IYCに参加して得たもの 参加報告」

中央大学ひつじぐも IYC 参加者

総合政策学部2年 峯尾 心 さん

総合政策学部1年 伊藤 瑠南 さん

- ・東京 YMCA 報告 菅野担当主事
- ・報告・連絡事項 会長・各委員
- ・スマイル 茂木
- ・Happy Birthday (花輪豊子、山本英次)
- ・閉会点鐘 花輪会長

会食

巻頭言

後藤部長公式訪問挨拶 (富士五湖クラブ所属)

皆さんこんばんは！



富士五湖クラブの後藤と言います。あずさ部 11 クラブ・東京、山梨、長野と東京の一部という感じですが、11 クラブあって、その中で形の上では1番偉い人です。

人数は多いんですけども、そんなに偉いっていうよりも、どっちかというワイズ・メネットクラブはフラットな関係っていうのが持ち味なので、会長も順番にみんなが

先月の例会ポイント (10月)

在籍	12名	切手 (小口、酌屋、津田)	1306.4g
		海外	238.4g
		計	1544.8g
メン	12名	現金	0円
メイキャップ	0名	累計	0円
出席率	100%	スマイル	9,400円
メネット	1名	累計	31,250円
ゲスト	5名	オークション	0円
ビジター	9名	累計	0円
ひつじぐも	12名		

今月の聖句(2022年11月)

イエスはお答えになった。第一の戒めはこれである。「聞け、イスラエルよ。私達の神である主は、唯一の主である。心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」第二の戒めはこれである。「隣人を自分のように愛しなさい。」この二つにまさる戒めはほかにない。(新約聖書/マルコによる福音書 12:29~31)

やる。誰が偉いわけでもなくみんな同等で行こうという感じで、うちの富士五湖クラブは成り立っています。だから会長も、今は時に座っている望月さんに「じゃあ座っている順番に会長やろうよ。」この話でずっと続いて20年経ちます。人数は少ないですけども、もう来週は20周年記念大会もできるようになりました。隔世の感があるなという感じなんです。

八王子クラブは富士五湖クラブがチャーターした時にこのクラブが10周年でした。ここへ来る間にみんな話をしていたんですけど、クラブでランドセルを背負って、やっと10周年になりましたって言ってた八王子クラブは、10年先輩ってことですよ。あのそういう記憶があって、どんどんみんな年を取ったなと思います。特に感じたのはこの若いメンバーですね。若い人たちは変わらないですね。メンバーは変わってるでしょうけども、うちの息子よりまだ10年も若いですから、私はもう還暦になりました。若い人がいるっていう例会自体が素晴らしいし、この将来が楽しみだな、と、そういう風に感じます。八王子クラブが先輩クラブであってこれだけしっかりした例会ができる。これは素晴らしいことだと思います。富士五湖クラブでは富士山例会があって、富士山の五合目の佐藤小屋で日本一高いところの例会をしようということで、今回も8/24-25(土日)にやっただけなんです。八王子からは、いつもいっぱい出てきていただけるのですが、今回だけはなぜか来なかったです。来年はまたぜひみんなに来てもらえればと思います。できれば若い人たちにも山梨の方も、あのユースにも言ってるんですけども、できるだけこうイベントには多分ユース料金適用してくれると思いますので、どんどん出て、おじちゃんいいことやってんな。おばちゃんいいことやってるなって見てもらえれば嬉しいです。そこに若い力を少し発揮してくれればみんな盛り上がると思いますので、よろしく願います。八王子クラブの例会に公式訪問で呼びいただき、ありがとうございます。今後ともよろしく願います。



総勢39名の出席者による「部長公式訪問例会」

あずさ部部大会&富士五湖クラブ20周年記念例会

並木 真

2022年10月15日山梨県忍野村 いちい亭にて開催された、あずさ部部大会&富士五湖クラブ20周年記念例会に花輪会長、久保田さん、長谷川さん、小口さんとともに5人で出席しました。昨年はやむなくZOOM開催でしたが、今年は感染対策をとりながらのリアル開催、あずさ部のクラブはもちろんのこと、富士五湖クラブ20周年を祝福しようと来賓の佐藤重良東日本区理事、中田順子山梨YMCA総主事をはじめ、沼津、御殿場、東京多摩みなみ各クラブも駆けつけ、総勢80名近くのワイズメンが集まりました。第一部のあずさ部部大会。後藤明久部長の開会点鐘で始まりです。富士五湖クラブ須藤繁様の聖書朗読「先にあったことを思い起こすな。昔のことを考えるな。見よ、私は新しいことを行う。今や、それは起ころうとしている。あなた方はそれを知らないのか。」(イザヤ書43章18節~19節)という一節は、20周年を迎えた富士五湖クラブがさらに前を向いて歩いていく、意思のようなものを感じました。その後、後藤明久部会長からIYC参加費補助金の贈呈が行われ、中央大学ひつじぐも2名を派遣した我がクラブ花輪会長が受け取られました。閉会点鐘のあとは、あずさ部書記をされている後藤昭子さんの高校時代からのお知り合いである「フォークデュオFF」のご夫婦が、懐かしい歌の数々をやさしいお声と滑らかなギターの音色で奏で、楽しいひと時を演出して下さいました。外に出て、玄関前で記念写真を撮影したのち、会場の入り口で席を決めるくじを引き席についたら、第2部の富士五湖クラブ20周年記念例会です。オープニングに富士五湖の四季折々のすばらしさと、富士五湖クラブの20年の歩みを伝える映像が流れました。構成がきれいで、クラブの歴史も年を追って見せて頂きました。どこかの業者にお願いして作ったのかと思いましたが、後から後藤昭子さんが制作したとお聞きして、とても驚きました。富士五湖クラブ会長望月勉様の開会のあいさつの中で「20年たった今でも、チャーターメンバーが全員残っている。それはただ真直ぐな道ではなかった。それでもここまで来た。」との言葉。とても感慨深く、私も胸が熱くなる思いでした。次期あずさ部長森本俊子様の乾杯で、楽しい宴の始まりです。美味しいお食事と、特産のワインを頂きながら他のクラブの方々や、30代、40代、同年代とも交流を深めることが出来ました。やはりリアルは楽しい！最後に、この会を企画、準備して下さいました富士五湖クラブの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました！



日本外交の重要性

—国を救った外交と救えなかった外交—

2022年10月8日(土) (18:00-19:00)

竹元正美氏



歴史を学ぶ重要性

- (1) 平成の天皇のおことば
- (2) 半藤一利: 人間の眼は、歴史を学ぶこと

で、はじめて、開くものである。

- (3) 米国「太平洋戦争博物館」

外交の重要性

(1) 著名な国際政治学者であるハンス・モーゲンソーは、その著「国際政治」において国力には、九つの要素があるという。即ち、地理、天然資源、工業力、軍備、人口、国民性、国民の士気、外交の質、政府の質である。その内、外交の質が最も重要であるという。

(2) 外交において最も重要なことは、①戦争にならないようにすること、②いかに負けない戦争をするか、③戦争をいかに早くやめるか、であると思う。

しかし、先の、アジア・太平洋戦争においては、この三つとも失敗した。

国を救った外交と救えなかった外交

- (1) ハワイ国王の提案
- (2) 三国干渉受け入れ
- (3) ポーツマス条約

「アジア・太平洋戦争敗戦までの外交一週間」

月:ハリマン提案拒否—小村寿太郎外相

火:日英同盟破棄—幣原喜重郎駐米大使

水:トラウトマン工作中止—広田弘毅外相

木:三国同盟締結、日ソ中立条約締結、日米了解案

反対—松岡洋右外相

金:日米交渉失敗、真珠湾奇襲攻撃—東郷茂徳外相

土:終戦外交失敗—重光葵外相、東郷茂徳外相

日:原爆投下、ソ連参戦—ポツダム宣言受諾—昭和天皇

- 1) ハリマン提案拒否—小村寿太郎外相(1905年)
ポーツマス条約調印後、米国の鉄道王ハリマンは、南滿州鉄道を日米共同で経営することを提案越した。東京では、伊藤博文、桂太郎、井上馨などが賛成し、協定署名直前までいったが、ポーツマスから帰国した小村寿太郎外相が反対したため協定署名が出来なかった。

これは、その後の日本の運命を誤り、日米衝突路線、そして、米中ソを敵として敗戦に至る原因となっ

た。

- (1) 日英同盟破棄
- (2) トラウトマン工作打ち切り—広田弘毅外相(1938年)

駐中国ドイツ大使のトラウトマンを通じた日中戦争の和平工作は、日中戦争終結のための最も重要な機会であった。陸軍参謀本部多田駿(はやお)次長が、交渉継続を涙ながらに訴えたのに対し、広田弘毅外相が打ち切りを主張した。陸軍参謀本部が中国との戦争をやめようというのに、外務省が強硬であった。

そして、近衛文麿首相が、国民政府を対手とせずと宣言した。この結果、自ら、外交ルートを切断し、外交による和平の可能性をなくしてしまった。

- (4) 日独伊三国同盟締結—松岡洋右外相(1940年)

松岡洋右外相が就任(7月22日)して、あっという間に、日独伊三国同盟が締結(9月27日)されてしまった。この同盟が、太平洋戦争の引き金ともなった外交の大きな失策であった。松岡洋右を外相に起用した近衛文麿首相の責任も大きい。

- (5) 日ソ中立条約締結、日米了解案挫折—松岡洋右外相(1941年)

1941年4月松岡外相は、モスクワにおいて日ソ中立条約を締結した。この条約の存在により、日本は、南進し米英と戦う道を進むこととなった。そして、終戦工作の際の最大の障害となった。この条約締結の二か月後、ドイツがソ連に侵攻し、松岡外相は、日本もソ連に侵攻すべきと主張。

一方、米国のウォルシュ司教、ドラウト神父と日本の元大蔵官僚井川忠雄との交渉から始まった日米交渉は、政府間の日米了解案となった。この案は、日本側に有利と映ったこともあり、日本側は陸海軍も含め前向きであった。ところが、訪欧から帰国した松岡外相は、自分が関与していない日米交渉に不快感を表し、猛然と反発した。そして、米国が到底受け入れられない修正案を提示し、日米了解案を挫折に追い込んでしまった。これも外交の失敗であった。また、米国が日本に不信感を抱かせるようになった大きな原因となった。

近衛首相が、松岡洋右以外の人物を外相に起用していたなら、太平洋戦争は避けられたかもしれない。

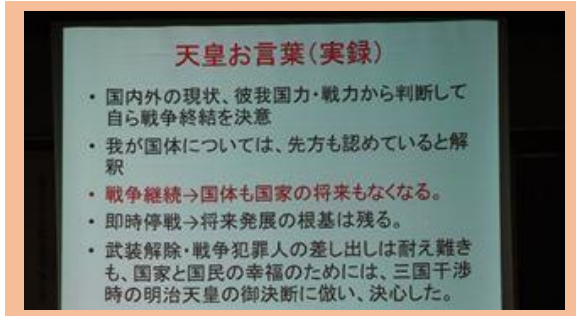
日米交渉失敗

- (3) 終戦外交失敗
- (4) 御前会議

『第二次世界大戦外交史(芦田均著)(最終頁)』

国を亡ぼすことになった。…原因は国の政治外交を渡すべからざる人の手に引き渡し、その国政と外交とを誤った方向に導き、しかも軍閥の執権後に登用した

外交家は極めて僅少の例外を除きその素質頗る粗悪であった。…われわれは再三再四この点を反省しなければならぬと思う。



終戦時の天皇のお言葉

34回 YVLF 山中湖センターに参加

小口多津子(ユース主査)

9月30日(金)から10月2日(日)まで、3年ぶりのYVLF(ユースボランティアリーダーズ・フォーラム)が開催されました。万全のコロナ対策の為、参加にはリーダーやスタッフ、ワイズは事前のPCR検査が必要なことに重点が置かれました。ワイズの実行委員長、相磯優子ワイズ(沼津クラブ)と、主幹の東京山手センター事務局の話合いの徹底ぶりが、功を奏して一人の感染者を出すことなく、3日間が終了しました。

ここに集うリーダー達は、各YMCAセンターで、子供たちを見守るリーダーとして、経験が1,2年という方ばかりの学生がセンター推薦で集まります。東日本区各地から集まり、盛岡センターから山梨まで、28名のリーダー。事務局は山手センター江尻さん、杉田さん、カウンセラー5名、スタッフが3名、そして参加ワイズは17名でした。基調講演は、小倉 哲氏でした。カウンセラーが過去のこのフォーラム経験者ということが、このフォーラムが長く成功している鍵でもあります。

懐かしい3年ぶりの山中湖センターで、お忙しいセンター長の中里さんにお会いしました。

懐かしいものが、もう一つ、クラブ5周年記念で広場に植えた、銀杏の木2本の成長を確認しました。あれから23年経ってしまっていて、さすが大きくなっていましたが、秋なのに何故か実がついていません、「気になる木」でした。

参加ワイズの一番は、山梨YMCAリーダーの応援もあって、甲府21クラブから佐藤理事と共に、6名も参加されました。差し入れにと、野々垣さんお手配のぶどう、あの美味しいシャインマスカットが、リーダーさんたちに振舞われました。山中湖の逆さ富士、山梨のぶどう…と、この感覚はずっと生涯、彼らに残ることでしょう。

3日目の最終日、各グループの報告会で締めくくり、すべてが終了し、バスで一路、東京に戻ります。

初めての出会いから始まった28人が、帰りのバスでは、涙で別れを惜しむ姿も見られ、やっぱり若さっていいな、と思いました。読ませて頂いた感想文の中に沢山の「一言」が目にとまりました。「…他の人の意見を聞いていて、自分の引き出しが増えていくのが分かった」「…悩みの多かった自分に自信が持てた、余裕というものが出た」「いつも子供達をリーダーの目で見ているのが、いつのまにか子供の身になっていた」。



ひつじぐも IYC タイ派遣者の紹介

みなさんこんにちは。中央大学国際ボランティアサークル委員長の関口遼です。いつも私たちを応援していただき、誠にありがとうございます。そして、改めまして、この度はIYCのタイ派遣の機会をいただきありがとうございました。ひつじぐもから2名も参加できたこと、本当にうれしく思います。11月例会は参加された学生による報告会です。以下は2名の学生の紹介です。ぜひご一読ください！

峯尾 心さん

総合政策学部国際政策文化学科2年です。所属しているゼミでは社会学や社会問題について勉強しており、今は社会統計学を主に学んでいます。中学生の頃タイのインターナショナルスクールに通っていたことがあり、当時は毎日が大変でもう2度とこんなことはしたくないと思っていましたが、今ではとても楽しくて貴重な思い出のひとつです。またもう一度、学生の間で海外で勉強をしたいと考えています。今回の発表ではチェンマイで撮った写真をスライドに多く含めることで、その時の雰囲気や景色を見ている方が想像しやすいようにしました。

伊藤 瑠南さん

千葉県出身で高校は千葉県立柏高校です。千葉県に住んでいます。

中央大学 総合政策学部 国際政策文化学科 1年
総合政策学部は名前の通りとても幅広い学問を扱い、在学中に自分の興味を持った分野について1つの学問からだけではなく複数の視点で学際的に学ぶ学部です。1年次は必修や色々な学問の基礎を学んでいるのでまだ特にこれといった専門分野はありませんが将来的には東南アジアについてField workを通して深く学んでいきたいなと思っており、現在は第2外国語でインドネシア語を勉強しています。

インドネシア語を学ぶのがとても楽しいです！IYCでタイに行き、タイ語を話したくなったので最近YouTubeでインドネシア語と英語でタイ語を学ぶのを始めました。人前で話すのが苦手なので温かい目で見て頂けるととても嬉しいです。
よろしくお願ひ致します。

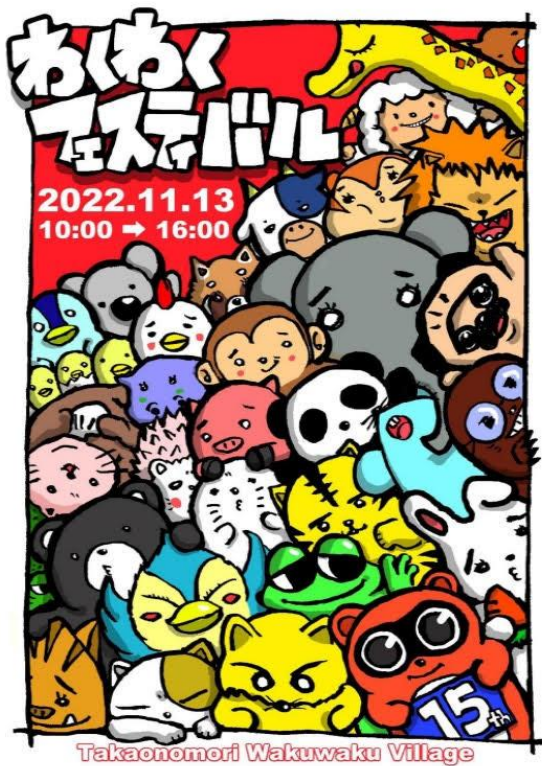
わくわくビレッジ便り

高尾わくわくビレッジ 館長 菅野牧夫

わくわくビレッジの森も色づき始めました。私の大好きな季節の到来です。チャリティーランは先月末をもって終了しました。チーム参加のために、ご協力いただきありがとうございました。またご参加いただいた、久保田さん、小口さん、佐藤さんありがとうございました。わくわくビレッジ合同チームの順位は平均歩数で46チーム中35位、総歩数で17位という結果でした。チーム内の順位では、ニックネームで参加しているの間違っていただめんない、久保田さんが2位となりました。1位はレストランスタッフでした。昨年私が参加していた時には、チーム内にライバルを設定してささやかに競い合うところに楽しさを感じていました。今年参加した皆さんも見えないライバルを設定していたのでしょうか？

11月13日(日)に3年ぶりにわくわくフェスティバルを開催することとなりました。わくわくビレッジ開設1周年を記念してスタートし、今年が15回目となります。コロナウイルスの影響で2年間中止となりましたので久しぶりの開催です。普段施設を利用している団体によるコンサートや出し物が披露されます。圧巻なのは鉄道模型走行会で、研修室を縦横無尽に模型が走り回ります。普段は体験できないプロジェクトアドベンチャー体験(アスレチック)も子どもたちに人気です。今年新たな取り組みとして、プログラミングやロボット操縦、ツリークライミング、モルック体験などを用意しました。1日楽しめるイベントとなっています。ワイズの皆様もお孫さんやお子様と遊びに来てください。もちろんお一人でも大歓迎です。

11月からフロント部に新しいスタッフが加わりました。別所淳君という若者です。研修がスタートしたばかりなので、お客様の前に顔を出すのはまだ先になりますが、わくわくビレッジで見かけた際にご指導のほどよろしくお願ひします。



高尾わくわくビレッジ フェスティバル

YMCA 便り

八王子クラブ 担当主事 菅野 牧夫

- ◆ 1922年10月にはじまった「早天祈祷会」が100年を迎えたのを記念し、10月3日に「早天祈祷会／100年記念交流会」をハイブリッド形式（山手センター及びオンライン）で開催し、39人が参加した。堀口廣司氏（学校法人東京YMCA学院長）による奨励に続き、齊藤實氏（元東京YMCA副総主事・YMCA史学会理事長）より歴史資料や写真を交えながらお話をうかがい、100年の歴史を振り返る時間を持った。
- ◆ 「第36回インターナショナル・チャリティーラン」は、今年も歩数計アプリを利用したウォーキングイベントとして開催。10月15日～22日の「らくらくウォーク」（個人参加）には118人が、10月22～30日の「チームレース」には46チーム706人が参加した。
- ◆ 10月22日、東京YMCAと横浜YMCAの共催により「スウィフト主事&ミラー主事墓参の集い」を開催し、会員、主事OB、職員など、22人が参加した。横浜外国人墓地に眠る日本のYMCAの発展に貢献された元北米YMCA主事の墓参と礼拝の後、交流の時間を持った。
- ◆ ウクライナ支援募金は第1期（開始～4月）、第2期（5～8月）合わせて11,238,924円が寄せられた。東京YMCAはウクライナYMCAに2回にわたり合計\$30,000を送金し、ウクライナYMCAが現地で行う子どもたちをケアする活動を支援している。
- ◆ 今後の主な行事日程
「ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート」
10月28日 会場：日本基督教団霊南坂教会 参加費：無料（会場で募金依頼）
出演：飯靖子氏（オルガン）・飯頭氏（ヴィオラ）・方波見愛氏（ピアノ）
「ソシアス2022」 11月20日 オンライン
講演：川平朝清氏（元NHKアナウンサー・昭和女子大学名誉教授）
「沖縄復帰50年と平和について」
「第22回日本YMCA大会」11月25日～27日
山手センター70周年記念「OBOG・現役リーダー会」 11月27日

ひっじぐも便

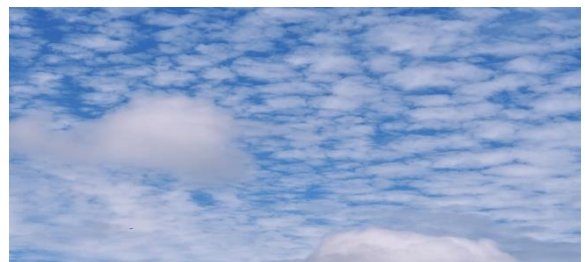
中大ひっじぐも 1年 川崎将斗

「ひっじぐも」に今年入部しました法学部法律学科の川崎です。池袋にて立教大学の「YMCA」・中大理工学部の「リコボラ」のゴミ拾い活動に参加しました。

他団体とのゴミ拾いはこれが初めてではなく、6月のゴミ拾い甲子園では多数の団体と共に競技形式で河川敷のゴミ拾いを行いました。今回は後楽園キャンパスの理工学部の方や立教大学の方とチームとして行動し、普段あまり会う機会のない方々と交流できたのはとても良い経験だったと思います。「ひっじぐも」のみでの活動ではどうしても顔見知り同士や同じ学部で固まってしまうがちですが、今回の活動では新しく仲良くなった人と連絡先を交換している人も多く、学部・学校をまたいで、人とのつながりを増やせることは他団体との共同活動の利点といえます。

都内での活動となりましたが、まず驚いたのがたばこのゴミの多さです。大通りでも、路地裏でもたくさんのたばこの吸い殻を拾い、その量は記録用紙の欄に収まらないほどでした。また、路地裏では特にゴミ置き場にペットボトルや缶などの大きめのゴミが散乱していたり、駐車場で吸い殻やプラスチック片が山になっていたりしました。やはり原因は都内で人が多く、駅から離れた場所のため、定期的な清掃がなされないためであると考えています。ゴミ拾い中に通行人の方に声を掛けられることも何度かありました。応援されたり、感謝されたことがモチベーションにつながった面もあります。

今回の活動でキャンパス・大学の垣根を超えて、多くの方々と交流できただけでなく、自分たちの活動が地域の役に立てていると実感できました。そのため、私は今回の立教大学の「YMCA」・中大理工学部の「リコボラ」に参加してよかったと思っています。



中大ひっじぐも

今月の聖句に寄せて (2022年 11月)

ジョン・ワナメーカーは、1875年にアメリカのフィラデルフィアに百貨店を設立、世界屈指のデパート経営者となり“百貨店王”として知られています。このワナメーカーがもっとも大切にしていたことは、礼拝に出席し、日曜学校の先生をすることでした。どんなに仕事が忙しくとも、日曜日には必ず自分の町の教会で礼拝に出席し、日曜学校の先生をすることを決して変えませんでした。時のハリソン大統領に請われて郵政大臣にも就任、政治家としての顔ももっていますが、ワナメーカーは大臣就任の要請を受けるにあたって、一つの条件を出しました。「大臣の仕事が大切なことはわかっています。しかし、このために自分の教会の礼拝に出席できなくなったり、日曜学校の教師を続けられないようであれば、大臣就任はお断りします。」ハリソン大統領は、ワナメーカーのこの条件を受け入れ、大臣に就任させました。

ジョン・ワナメーカーはYMCAにおいても良く知られる人で、フィラデルフィアYMCAの発展に大いに尽くし、また、世界のYMCAの発展にも尽力、日本では、ジョン・R・モットを通じて、京都のYMCA会館建設に多額の寄付を寄せられたことでも知られています。

また、数々の名言でも知られます。●「尽くすことを正直に試みる者には、全世界もまた彼に対して尽くすことを忘れないであろう。」●「自分の仕事を愛し、その日の仕事を完全に成し遂げて満足し、軽い気持ちで晚餐の食卓に帰れる人が、世界で最も幸福な人だ。」

ジョン・ワナメーカーは、今月の聖句の最も大切な二つの戒め、「神を愛し、隣人を愛する。」ことに、何より忠実な生き方をつらぬいた人であったのでしょうか。

並木信一

* 八王子クラブ第一例会報告

10月8日(土) 18時より北野事務所で開催。あずさ部後藤明久部長の公式訪問で出席者 39名と月例会では過去最多となった。特に中大ひつじぐもの学生の出席者 12名はこれも最多。

後藤あずさ部長の挨拶の後、元大使の竹元正美氏より「日本外交の重要性」としてパワーポイントとレジメに基づいて貴重な卓話があった。

まず歴史を学ぶ重要性で(1)平成天皇のお言葉(2)半藤一利の歴史を学ぶことの重要性(3)日本には米国の「太平洋戦争博物館」がないことに触れ、日本にも同様な博物館を造り誰でも見て理解できるようにすべきと3点を冒頭に挙げられた。続いて次のような課題に直面した時の外交の重要性を強調された。

まず、①ハワイ国王の提案②日清戦争後の三国干渉受け入れ③日露戦争後のポーツマス条約時の国民の反応と政府の政策、その後の日英同盟破棄、日独伊三国同盟締結、日ソ中立条約締結、日米交渉失敗、終戦外交の失敗と外交はことごとく失敗した。このため太平洋戦争勃発となり日本は大打撃を受けた。外交で重要なのは①戦争にならないようにする。②以下に負けない戦争をするか。③戦争をいかに早くやめるか、を認識させられた。第二次世界大戦の戦死者数では日本は310万人、に対し、ソ連2千万人、中国1300万人

とソ連は多いが当時もソ連は人間を盾に戦っていた。今のロシアのウクライナ侵略についても言えよう。

卓話後種々質問があり、竹元氏は適切に回答されていた。続いて、八王子市民活動協議会の岡崎理香さんのご挨拶とひつじぐものに対して同協議会でのボランティアを依頼し、大学の先輩としてメッセージを送られた。

一人一言は当初全員と考えていたが時間の関係あり、ひつじぐもの学生のみ絞ってお願いした。

(例会出席者・敬称略) 計39名

メンバー：菅野、小口、佐藤、長谷川、花輪、望月、並木真、久保田メン・メネット、山本、茂木、大久保、並木信一

ゲスト：竹元正美、岡崎理香、酢屋義元、松澤節夫、津田敬久、

ビジター：(富士五胡) 後藤明久、後藤昭子、望月勉、望月喜代子、原俊彦、原淑子(東京西) 篠原文恵、本川悦子、吉田明弘、

ひつじぐも：関口遼、高木善仁、森脇啓心、大山希、福田鉦夢、金子百花、酒谷香帆、轟千佳、西成望、田中胡暖、塚本理子、伊藤瑠南

* 八王子クラブ第二例会報告

日時:10月22日(土曜日)18:00~19:15

会場:北野事務所小会議室

1. 報告事項

(1) 11月第1例会について(11月12日(土)18:00~)

C班並木班長に代わり、山本ワイズより説明あり。

- ・会場は高尾わくわくビレッジでハイブリッド方式。
- ・プロジェクターは山本ワイズが手配。
- ・机の配置、食事は並木信班長と菅野ワイズ
- ・卓話は「YC」に参加して得たもの—参加報告

報告者:総合政策部 2年 峯尾心さん、

同 1年伊藤瑠南さん

- ・ゲストは長谷川ワイズ担当・

・食事:幕の内弁当 950円 締め切り:11月1日

(2) 12月クリスマス例会 長谷川A班 班長

・日程:12月17日(土)17:00~20:00

・会場:大学セミナーハウス

・食事代予算 一人当たり3,000円

・会費:メン 2,000円、メネット・ゲスト3,000円

ひつじくも500円 ・出欠締め切り:11月26日

(3) 1月第1例会について

花輪会長 12/27より1カ月不在の間の対応。

- ・久保田書記が担当することで区よりの通信については長谷川ワイズが東日本区・あずさ部書記に連絡する。後期半年報は1月1日現在の会員数を1/10までに報告。

・2月11日のあずさ部評議会用の会長報告は12月27日までに花輪会長が作成して、あずさ部後藤書記に送付する。

- ・1月の卓話は八王子市にお願いして「日本遺産について」の予定。例会の形式は別途検討する。

(4) チャリテコンサート中止に伴う対応

- ・山本ワイズより、小ロワイズとともに参加した桐朋学園「風の仲間」朝日生命協賛ユネスコ・トワイライト・コンサートについて報告。小ロワイズより追加報告。来期以降のチャリコンは協議する。

(出席者(敬称略))

花輪、小口(二人はZoom参加)、長谷川、菅野
佐藤、久保田、望月、並木真、山本、茂木

10月のお誕生の皆さん



酢屋さん、並木真さん、小口さん、伊藤さん、花輪会長
望月さん、津田さん

今月のお誕生

花輪豊子さん 12日

山本英次さん 26日



菅野牧夫さん提供「鉄道模型」